

開催日時：令和7年1月8日（水） 13時00分から13時45分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、清水総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、林福祉部長、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、福岡会計管理者、筒井議会事務局長、秦野教育次長、佐々木財政課長、小室秘書課長、滝沢南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

＜市長＞

- ・定例記者会見では、2025 年はいいだ未来デザイン 2028 後期計画の初年度であり、エス・バードへの水素パネルの設置、リニア駅周辺整備の事業者選定に伴う実質的な基本計画作成、新文化会館の基本計画を含めたまちの設計図を示すなどこれからの基礎を創る年と申し上げた。部局長の協力をお願いする。

＜副市長＞

- ・令和7年飯田市議会第1回定例会では、市議会議員の改選を見据えて気持ちを入れて迎える議員が多いと思われる。しっかりとした受け答えができるよう、準備をすること。
- ・当初予算や年度戦略、行革大綱及び実行計画、長期財政見通し、各部局の個別計画などを公表する議会となる。それぞれの整合性を図り、飯田市の方向性を示して議会ですっきりと議論ができるよう、情報共有をすること。

＜教育長＞

- ・平谷村に同村で教員を務めた林芋村の「深雪せる野路に小さき沓の跡われこそ先に行かましものを」という短歌を刻んだ歌碑がある。雪の日の朝、雪の中にこどもたちの靴の後を見つけ、それを見て自身が先に学校へ行き、雪かきをしなければならなかったという自責の念を歌ったものである。
- ・私も教員の頃は児童生徒より先に学校へ行き、雪かきをしたが、最近はその話を出すと働き方改革に反することもあり、気を使わなければならなくなっている。教育愛とは別次元の話とを感じる部分もある。
- ・特に雪の降った時には事故やけがに気を付けたい。

2 協議事項

- (1) 「いいだ未来デザイン2028 2025（令和7）年度戦略計画」等について

◇趣旨

- ・「いいだ未来デザイン2028 2025（令和7）年度戦略計画」等について協議する。

◇意見

（議会事務局長）

- ・年度戦略に合わせる形で財政課が当初予算の概要を作成し、年度戦略は抜き出して記載されることとなるが、重点事業に位置付く新規事業や拡充事業は事務事業進行管理表にその旨を表記し、しっかりと説明した方がよい。

（企画部長）

- ・重点事業に係る事業内容を厚く記載することにより分かりやすく説明するなどの工夫をする。

（市民協働環境部長）

- ・委員会提言については、委員会代表質問で答弁した部分も改めて回答するのか。

(企画課長)

- ・委員会代表質問で答弁しており、その時点から変更のないものは、基本的に回答不要である。

(企画部長)

- ・指標を含めた年度戦略の議会への説明は、今回示すものが初めてとなる。説明方法は、調整したうえで改めて伝達する。

3 報告事項

(1) 風越公園の再整備方針及び都市計画公園の変更について

◇趣旨

- ・風越公園の再整備方針及び都市計画公園の変更について報告する。

◇意見

(市長)

- ・既存モニュメントの移設や遊具の新設については、関係者と意見交換をし、丁寧に合意形成のプロセスを踏んだうえで実施すること。

4 令和6年飯田市議会第4回定例会の反省について

(企画部長)

- ・代表質問は時間配分等もうまくいき、全体として答弁もかみ合っていたと感じたが、委員会代表質問では委員会によって質問する委員長の立ち位置に違いがあったとも感じた。

(議会事務局長)

- ・議案審議のための補足説明資料は全て期限までに提出されており、議会から追加で依頼のあった資料も早急に対応いただいたことに議員からも感謝の言葉があった。
- ・指定管理の資料は財政課の指導もあり細かく作られていたが、説明者によっては記載内容の意図を理解せずに答弁していると思われる場面が見受けられた。事前にしっかりと整理されたい。
- ・常任委員会の中で質疑が集中して細かい部分の質問になってくると、担当課長は真正面から受けて答弁せざるを得ないため、もう少し早いタイミングで部長が大きな視点で答弁していただけると良い。
- ・上村デイサービスセンターの指定管理料は、年度途中で指定管理料が上がることにについて議員の中に疑問が残っているので、当初予算説明の際には特に注意されたい。

(副市長)

- ・市長挨拶等を聞く前に質疑通告がある点や通告から質問まで時間が空くことについて、議員から意見があった。執行機関側では影響があったか。

(建設部長)

- ・通告時点から時間が経つにつれて、議員が内容を整理するなかで質問が増えることや内容が変わってくるがあった。

(議会事務局長)

- ・議員には、論点を整理してから通告に臨むように伝えている。可能な範囲で対応いただけるとありがたいが、通告の範囲内で対応いただければと思う。議会事務局にも相談いただければ、こちらでも対応する。
- ・質疑通告の前倒しは、議会としてはデメリットの方が大きかったと整理している。次年度からは告示日の翌日から2日間かけて通告するよう調整している。
- ・次年度は改選に伴う臨時会を令和7年5月12日、13日に開催することを予定している。スケジュール調整をお願いする。

(副市長)

- ・委員会代表質問が定着するのであれば、9月議会にできないか。

(議会議務局長)

- ・委員会からの提案、提言に対して当初予算審議のタイミングで回答をいただくとすると、9月が最適と思うところもある。検討する。

(副市長)

- ・常任委員会では委員長が上手くまとめてくれたが、個別な部分に深く入りすぎる前に、もう少し早いタイミングで部長が介入した方が良かったと感じた。
- ・契約案件の説明は、変更理由をきちんと説明する必要がある。また、契約の相手は記載していないため、事業者間の関係もあることから、説明する必要がある点に注意すること。

(教育次長)

- ・教育委員会は学校教育課に質疑が集中することがあり、今回の通告からのスケジュールは対応しやすかった。

5 その他、連絡事項

6 閉 会